

教科	科 目	単位数	学年・クラス
理科	生物基礎	2	2年2組

1 使用教材

使用教科書	生物基礎
出版社	数研出版
副教材等	リードLight ノート生物基礎
出版社	数研出版

2 学習の目標

- 1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行う。
- 2 生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。
- 3 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
定期考査	A	A	C	理解ができているか
小テスト	A	B	B	既習事項を身に付けることができているか
課題	B	B	A	提出状況、理解できているか
授業	B	A	A	授業態度や発表、協調性があるか

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	序章 第1編 生物と遺伝子 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	生物基礎で学習する内容の概要を把握するとともに、探究活動は何かについて理解する。 生物学を学習する上で重要な視点である生物の多様性と共通性について理解する。 遺伝子の本体であるDNAについて、構造及び遺伝情報はその塩基配列にあることを理解する。
2 学 期	第2編 生物の体内環境の維持 第3章 生物の体内環境 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植物の多様性と分布	体内環境がどのようにしてほぼ一定に保たれているのか、また体内ではどのような仕組みが働き、どのように調節が行われているのかを理解する。 植生について、その構造や、遷移とそのしくみについて理解する。
3 学 期	第5章 生態系とその保全	生態系の成り立ち、生態系における物質循環とエネルギーの流れについて学習し、自然環境を保全することが大切であることを理解する。